

会 議 録		
会議名	第 1 回日野市運賃協議分科会	
日時	令和 6 年 10 月 15 日(火)10：00 から 10：30 まで	
会場	日野市役所本庁舎 504 会議室	
出席者	委員	別紙のとおり
	事務局	都市計画課 浅川課長、林係長、伴登主任、川上主事、亀之園主事
議題	議事 (1)市北東地域におけるデマンド型交通実証運行の運賃について(協議事項)	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	0 名	

1. 開会

2. 議事

(1)地域協働型交通の導入検討について(協議事項)

事務局から説明（資料 1 市北東地域におけるデマンド型交通実証運行の運賃について）
（資料 2 地域協働型交通の乗降ポイント検討状況）

【会長】

ただ今の説明について、ご意見・ご質問を受け付けます。

【委員】

今京王電鉄バスと調整している許可申請書類の運賃のところで、京王電鉄バスからいただいた書類には免許返納者の運賃の区分がある。今回の資料には免許返納者について記載が無いが、省いてよかったのか。

【事務局】

調布市で実施しているデマンド型交通では免許返納者の割引をされていて、それに合わせて京王電鉄バスで書類を作成したものと思われる。今回日野市で導入検討しているデマンド型交通については、路線バスが撤退した地域をカバーすることを目的としており、免許返納を促進するためにやっているわけではないので、免許返納者の割引は適用しない考え。

【委員】

利用される方は少しでも安い方が良くと思いますが、前回の交通会議で議論したとおり行政負担額が上限 600 万円に対して大幅に上回ることになる。これは市側としては大丈夫なのか。

【事務局】

経費に対して運行収入が大幅に足りないのは当然課題ですので、実証実験をしながら、経費が削減できるかどうかは考えていく必要があると思う。

【事務局】

補足で、「地域協働型交通の導入ガイドライン」で示している行政負担額の上限 600 万というのは、もともとはデマンド型を想定しておらず、ワゴンタクシーの実績をもとに算出していた。なので、ガイドラインに定める基準等はデマンド型交通にも合うよう改めて行く必要があると考えている。

実証実験は約 2 年間あるので、その中で基準等も再調整しながら進めていきたいと考えている。

<議決>

【会長】

- ・市北東地域におけるデマンド型交通実証運行の運賃について異議ないか。

【委員】

《異議なし》

【会長】

- ・市北東地域におけるデマンド型交通実証運行の運賃について承認した。

【会長】

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。なければ本日の議題はすべて終了いたしました。

この後の進行につきましては、事務局にお返しいしたいと思います。よろしくお願いします。

【事務局】

この後、10 時 30 分よりこの会議室で第 49 回日野市地域公共交通会議実施させていただき、本分科会の結果報告およびデマンド型交通の導入について協議する予定となっています。交通会議の委員の皆様につきましては引き続きよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第 1 回日野市運賃協議分科会を終了させていただきます。ありがとうございました。